

たく ほん 拓本の採り方

拓本の採り方には、^{しったく}湿拓法と^{かんたく}乾拓法の二つの方法があります。
湿拓法の採り方を知り、実際に体験してみましょう。

■ 拓本の種類

湿拓法

貼り付けた紙を水でぬらし、表面が半乾きの状態になったら拓本墨(油墨)を付けて採る方法。

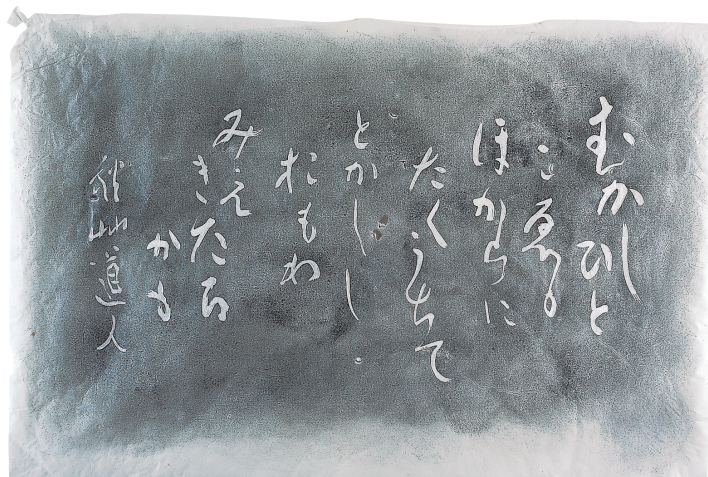
乾拓法

紙を当て、そのままこすり採る方法。

■ 用意するもの(湿拓法)



1. 画仙紙^{がせんし}
2. テープ
3. タンポ
4. バケツ
5. 軍手
6. 拓本墨(油墨)
7. ブラシ^{うちこみ け}(打込刷毛)
8. タオル



会津八一の歌碑より(早稲田大学構内)

※拓本を採る場合は、所有者の許可が必要である。必ず事前に確認すること。
※野外にある石碑などは、泥やほこりが付いているため、初めに表面の汚れを取り除いておくこと。



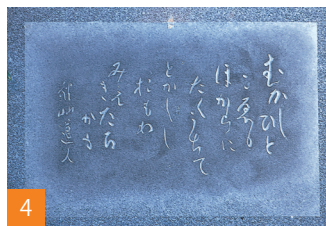
1 画仙紙を碑面に当ててテープで止め、水でぬらして絞ったタオルで紙の中心部から上下左右に向けて水貼りする。



2 碑の文字部分にしっかり紙が食い込むように、ブラシで丁寧に打ち込んでいく。このとき、紙が破れないように注意する。



3 紙の表面が半乾きになったら、タンポを碑面に対して垂直に当て、墨を打ち込む。むらが出ないように、軽く何度もたたく。



4 だんだん濃くしていき、たたき残しがないか確認したら、新聞紙に巻き込みながら、紙を剥がす。

タンポの作り方

正方形の布(織り目が細かい絹が最適)で布団綿(脱脂綿)を包み、輪ゴムかひもで結ぶ。墨採り用タンポ(直径10cm程度)と少し小さなたたき用タンポを準備する。拓本墨を大きめのタンポに含ませ、拓本を採るための小さなタンポとこすり合わせて墨をなじませる。

